

国際総合科学部 卒業論文評価・判定基準及び評価体制・手続き

国際総合科学部 卒業論文評価・判定基準

<評価項目・基準>

評価項目・基準等について、学系ごとに別に定める。

国際総合科学部 卒業論文評価体制・手続き

<審査体制>

主査と副査を設けるなど、複数教員による審査を実施する。主査もしくは副査のいずれかが合格点に満たない評価をつけた学生については、学系会議にて再度成績判定を行うこととする。

目次

国際総合科学部

国際教養学系	2
国際都市学系	3
経営科学系	4
理学系	7

国際教養学系 卒業論文評価・判定基準

以下の評価項目を総合的に判断する。

- ・ 研究課題が十分に説明されているか。
- ・ 先行研究の検討が十分になされているか。
- ・ 論理的整合性があるか。
- ・ 実証性を備えているか。
- ・ オリジナリティが認められるか。

国際教養学系 卒業論文評価体制・手続き

< 卒論提出資格 >

中間発表会で発表を行っていること。

< 審査体制 >

複数教員による審査を行う。

< 卒論審査(発表会) >

卒論審査(発表会)を開催する。

< 評価の判定 >

成績は、主査・副査が合議の上、学系会議に提案して判定する。

国際都市学系 卒業論文評価・判定基準

以下の評価項目を総合的に判断する。

- ・ 研究課題の学術的意義や社会的意義が説明されているか。
- ・ 先行研究の検討が十分になされているか。
- ・ 研究課題・方法・結論等に独自性・独創性が認められるか。
- ・ 実証研究の場合、実証性を備えた調査・分析・考察を行えているか。
- ・ 論文の構成・記述に論理的整合性があるか。
- ・ 学術論文としての構成・体裁が整っているか。

国際都市学系 卒業論文評価体制・手続き

< 卒論提出資格 >

中間発表会で発表を行っていること。

< 審査体制 >

最終発表は、複数教員で審査する。

< 卒論審査(発表会) >

学生は、最終発表会で口頭発表をすること。

< 評価の判定 >

論文内容および最終発表会での発表内容・質疑応答状況を踏まえ、複数教員で合議し、指導教員が学系会議に評価を提案して合否を判定する。

経営科学系 経営学コース 卒業論文評価・判定基準

以下の評価項目を総合的に判断する。

- ・論文としての構成・体裁が整っているか
- ・的確な研究の焦点
- ・先行研究の十分なサーベイ
- ・論理的整合性
- ・適切なデータ、資料の使用
- ・より大きな付加価値(net contribution)

経営科学系 経営学コース 卒業論文評価体制・手続き

<卒論提出資格>

副査に中間報告を行っていること。

<審査体制>

複数教員による審査を行う。

<卒論審査(発表会)>

公開の場で卒業論文の発表を行い、副査の審査を受ける。

<評価の判定>

- ・コース会議は副査の報告を受けて論文の合否を決定する。
- ・コース会議の決定に従い、主査は副査のコメントなども踏まえて成績を決定する。

経営科学系 会計学コース 卒業論文評価・判定基準

以下の評価項目を総合的に判断する。

- ・論文としての構成・体裁が整っているか
- ・研究の焦点が定まっているか。
- ・先行研究のレビューを充分に行っているか。
- ・論理的整合性があるか。
- ・適切なデータ、資料に裏付けられているか。
- ・相応の独創性が認められるか。
- ・研究の意義・成果の明示がされているか。
- ・副査はプレゼンテーションも評価する。

経営科学系 会計学コース 卒業論文評価体制・手続き

<卒論提出資格>

副査に中間報告を行っていること。

<審査体制>

複数教員による審査を行う。

<卒論審査(発表会)>

公開の場で卒業論文の発表を行い、副査の審査を受ける。

<評価の判定>

原則、主査・副査の各点数の平均点とする。

経営科学系 経済学コース 卒業論文評価・判定基準

以下の評価項目を総合的に判断する。

- ・的確な研究の焦点
- ・先行研究の十分なサーベイ
- ・論理的整合性
- ・適切なデータ、資料の使用
- ・より大きな付加価値(net contribution)

経営科学系 経済学コース 卒業論文評価体制・手続き

< 卒論提出資格 >

副査に中間報告を行っていること。

< 審査体制 >

複数教員による審査を行う。

< 卒論審査(発表会) >

公開の場で卒業論文の発表を行い、副査の審査を受ける。

< 評価の判定 >

- ・コース会議は副査の報告を受けて論文の合否を決定する。
- ・コース会議の決定に従い、主査は副査のコメントなども踏まえて成績を決定する。

理学系 卒業論文評価・判定基準

以下の評価項目を総合的に判断する。

- ・ 卒業論文に関する規定や内規に従って記述されているか。
- ・ 研究課題に積極的に取り組み、意義のある成果が得られたか。
- ・ 研究内容の基礎知識が十分であったか。
- ・ 論理的かつ適切な表現で記述されているか。
- ・ 発表会で口頭発表を行い、質疑応答が明解に行われたか。

理学系 卒業論文評価体制・手続き

< 卒論提出資格 >

- ・ 本学学則に定める修業年限を充足（見込みを含む）していること。
- ・ 卒業論文の提出について、指導教員の承諾を得ていること。
- ・ (物質科学コースのみ) 中間発表に合格していること。

< 審査体制 >

- ・ 評価基準を満たしているかをコース全教員で評価する。

< 卒論審査(発表会) >

- ・ 卒論発表会を開催する。

< 評価の判定 >

- ・ コース会議で最終判定を行う。